



9月30日市営墓地公園「メモリアルパークののいち」の竣工式を行いました

ごあいさつ

令和4年10月7日

さわやかな秋晴れの9月30日、市営墓地公園「メモリアルパークののいち」が竣工いたしました。10月1日、2日には内見会を開催し、大変多くの方にお越しいただきました。整備にあたりご協力いただきました関係者の皆様、中林土地区画整理組合をはじめとする地元の皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。

平成26年の市営墓地整備等検討委員会の発足から8年、アンケート調査などで市民の皆さんの声をお聞きするなど、慎重に検討を重ね、計画を進めてまいりました。

時代の移ろいとともに価値観や生活様式も多様化し、お墓に対する考え方もそれぞれに変わってきています。そのことに柔軟に対応するためにも、「メモリアルパークののいち」は、従来の墓石型など一般的なお墓の区画に加え、施設型合葬墓と樹林型合葬墓も整備いたしました。

また、緑豊かな芝生広場と遥かに霊峰白山を眺望できる絶好のロケーションは、お墓参りだけではなく、市民の皆さんにいつでも気軽に立ち寄っていただきたいという思いも込められています。

平成19年に野々市町長に就任いたしました。それ以前の石川県議会議員の時代からも含め、私にとって野々市での墓地整備は一つの夢でもありました。さまざまな場面で皆さんのお話を伺うたびに、多くの方々が墓地を求めていらっしゃることに、そして、墓地を整備することが、生涯の安心に繋がることを強く感じてきました。

野々市は若い方も多く、今も人口が着実に増え続けています。ご縁があつて野々市に住んでいらっしゃる皆さんにとって、いつかは訪れる人生の終焉を、安心して迎えることは、「住みよさ」の重要な要素であると思っています。

先の時代を見据えた墓地公園をこうして皆さんにお披露目できたことは、感慨無量、感謝の念にたえません。

この先も「ふるさと野々市」として、心の拠りどころとして、永く親しまれる場となることを願っております。